

ロボットによる異種格闘技戦を開催!!

○ロボット異種格闘技戦 KHK杯開催

10月13日(土)埼玉県川口市、小原歯車工業株式会社にて「かわさきロボット競技大会」に準拠したロボット大会を開催いたしました。

○かわさきロボット競技大会とは？

かわさきロボット競技大会とは、ラジコン型ロボットを用いた異種格闘技戦の大会で愛好者の間では「かわロボ」と呼ばれ親しまれており、今年で14年目になります。ロボットとしての大きな特徴は攻撃用アーム機構と脚機構による移動です。脚機構アーム機構を用いることで、車輪による駆動は認められません。強力なアームを装備したロボットの迫力ある試合を見ることができます。また、各ロボット共に様々な工夫を凝らしているのも特徴です。川口市では昨年、一昨年と機械工業共同組合様や商工会議所様などが企画し、当社が中心となってかわロボの大会を2回開催してまいりましたが、今年は当社での開催を行いました。

○当日の様子

参加台数65台、来場者数およそ100名
当日はKHK本社4階を利用し大会を行いました。
参加者の皆様の協力もあり、スムーズに大会を進行することができました。



1対1による真剣勝負

試合形式は2回戦まで1対1による1本勝負、3回戦以降は2本先取としました。
本家かわさきロボット競技大会ではスタート失敗による転倒は1本負けなのですが、
KHK杯では特別に2回戦までは1回だけ取り直しを認めています。



激しい戦闘でロボットが宙を舞う試合も

ロボットの重量は最大で3500gとなかなかの重量ですが、
パワーのあるモーターを使うチームが多く相手をリングの外まではじき飛ばす試合もあり、
このように迫力の在る試合展開もかわさきロボットの醍醐味の1つといえます。



工夫を凝らしたロボットと屋上リング

かわロボに参加している人たちの中には「勝つ」事だけを目指す人ばかりではなく、
人の目を楽ませる「たのしい」ロボットを作ろうという人たちが多数居ます。
手のひらサイズの小型ロボットやロボット上でパンダが操縦しているロボットなどもあります。
屋外で調整を行いたいなどの声に応え、屋上に練習用リングを設置させて頂きました。

大会結果

優勝: SABER(セイバー)
準優勝: 窮奇(かまいたち)
3位: 愛々(ラブラブ)

大会結果は上記のようになりました。

試合参加者、見学者ともに大変多くの方々にご来場して頂きありがとうございました。